

### 第3期:効果的であったポイント(n=13市町)

- 前年度末、年度初め早々の個別通知
- **集団の場を用いた接種の併用(10市町)**
  - 接種の場: 10市町すべて学校
  - 接種漏れ者には個別の対応で接種を徹底
- 個別接種のみで対応の自治体:
  - 未接種者の把握⇒個別の勧奨を繰り返し実施
  - **学校**からの積極的な複数回の勧奨
  - 学校との十分な連携: 未接種者の把握ができない自治体も学校との十分な連携で対処

### 第4期:効果的であったポイント(n=15市町)

- **個別接種での対応が主**
  - 未接種者の把握⇒繰り返しの個別の勧奨
    - 未接種者の把握ができない自治体でも学校との連携で対処
  - 学校からの繰り返しの勧奨/確認
  - 学校との十分な連携
    - タイミングを逃さない通知(夏休み前、冬休み前、スポーツイベント等)
    - 市と学校が通知のタイミングを同期させ、そのタイミングで接種医療機関が診療曜日・時間を拡大して待機(上越市)
  - 接種期間の限定(短期集中型の接種)
    - 4~6月のみ、あるいは夏休み期間のみ、日程を指定等
- **集団の場を用いた接種の併用(4市町)**
  - 接種の場: 保健所・保健センター2, 医療機関1, 学校1